自然界で育つ木々は、環境に適応した生命力を育みながら生長します。
しかし、人工的に植えられた木々は、自然の状況変化により衰弱したり、
土壌条件や定植方法などにより生長を妨げられたりしています。

<写真>

宮崎県高鍋町
南九州大学 構内
フェニックス

上段／左 SME処理開始	2001.06
上段／右 SME処理1年後	2002.11
下段／左 SME処理開始	2001.06
下段／中 SME処理1年後	2002.11
下段／右 SME処理2年後	2003.09

SME資材によるカナリーヤシの樹勢回復試験

The fine recovery examination of the trees
of Phoenix canariensis
by SME materials

移植時に比べ土壌条件が悪化したため樹勢が衰えていたのですが、SME資材により回復しています。
フェニックスの場合は枝葉の伸長を見るために、本来の姿になるまで二年の期間が必要になります。
時間はかかりますが、写真のように、葉の色合いや張り具合、幹の表面などから確実に回復していることが確認できます。
樹種により回復の速度は異なります。

SME資材によるカナリーヤシの立枯病発病抑制効果

The Zoysia decline onset-of-a-disease control effect
of Phoenix canariensis
by SME materials

土壌中にフザリューム菌（フザリュームオキシスポーラム・エメンド菌）が増殖し、
そのまま放置しておくと立ち枯れしてしまうことが明確であったフェニックスへの使用例です。
立枯病が発病することを抑制できただけでなく、樹勢を回復させることができました。
回復するのに2年以上の期間を要しますが、写真のように、樹勢回復のみでなく立枯病の発病を抑制できる効果も得られます。